ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	20B-1(A071 IP3下)		調査位置							北　緯	36 ° 59 ' 11.6900 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　道路部　道路保全課				調査期間	2008-11-05 ～ 2008-11-12				東　経	140 ° 14 ' 23.4500 "
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	488.14 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 35.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具
総掘進長	8.05 m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	487.54	0.60	0.60		崩積土 (Dt)	暗灰褐		軟らかい	礫混じりシルト 径φ40～60mmの角礫混入多い		
1					礫混じり粘土 (CH-G)	暗緑灰		中位	砂岩の強風化帯 強風化により粘土化 風化岩片と細粒土により構成		11/07
2	485.64	1.90	2.50								
3					風化砂岩 (Ss)	灰褐～暗灰			砂岩の風化帯 2.50～3.30m間　片状～短柱状で風化少ない RQD10% コア採取率90% 3.30～6.00m間　礫状主体で部分的に弱風化によりやや粘土化 RQD0% コア採取率80% 岩級区分D～CL程度		
4											
5											11/08
6	482.14	3.50	6.00		砂岩 (Ss)	灰～黒灰			クラック非常に多い コアは密着し岩片は硬い 風化比較的少ない 6.00～7.00m間 片状～短柱状で風化無し RQD25% コア採取率95% 7.00～8.05m間　礫状～片状で部分的にクラック部弱風化 RQD10% コア採取率90%		
7											11/10
8	480.09	2.05	8.05						岩級区分CL～CM程度		11/11

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	1	2	5／30	5
1.45					
2.15	15	10	12	37／30	37
2.45	50／2			50／2	>50
3.15					
3.17					
4.15	3	4	5	12／30	12
4.45					
5.00	10	13	13	36／30	36
5.30					
6.00	50			50／10	>50
6.10					
7.00	50／5			50／5	>50
7.05					
8.00	50／5			50／5	>50
8.05					

N 値　0 10 20 30 40 50

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日